

SDGs推進課「ちゅもー」のつながり



ちゅもーの「ちゅもー」アプリ



令和5年度の5月10日から相模原市ではスマートフォンアプリ「ちゅもー」の相模原市版「すもー」のサービスが開始されました。詳しく知るための5月20日(金)市役所本館3Fにある相模原市長公室みんなのSDGs推進課を訪ね、統括副主任榎本幸一様にお話をうかがいました。榎本さんは当協会の講師でも、何度かSDGsのお話をしていたとのことค่ะ。

◆ちゅもーのLINE@

株式会社カヤックが提供するスマートフォンアプリで、地域の「つながり」のための「コミュニティ通貨(地域通貨)」です。人やまち、環境などに良いことをする「コイン」が貯まり、「コイン」を使って、少しお得な体験や、お金では買えない特別な体験ができます。また、それぞれの「体験」はSDGのゴールと結びつけて、SDGsを自分ごと化する「つながり」が生まれます。通貨という名も、地域クーポン券やスマートフォン「チャージ」してお店で使える通貨では違いますが。

◆導入の目的は?

SDGsの自分ごと化や、地域における新しいつながりの創出(まちの地域コミュニティ)の活性化や



SDGs推進課の榎本さん

図る「つながり」を目的に開始しました。まちの「コイン」は使えば使うほど「つながり」が生まれる仕組みとな

っています。つまり、貯めた「コイン」を使わずにSDGsの目標達成を「ちゅもー」の仕組みで応援しています。

◆「ちゅもー」のQRコード

相模原市「住む」ことを楽しむで欲しいという願いと、「相模 やがみ」という文字が「相模 すもー」という文字に似ていることから命名しました。ちなみに小田原の「コイン」は「おだちゅ」です。

◆「ちゅもー」を使うには?

「スポット」と呼ばれる市内のお店や団体、市役所などが用意した「ちゅもー」をお得な体験」や、「特別な体験」をする事ができます。具体的には、飲食店でちょっとしたサービスが受けられたり、使われなくなっただけ、実際にはまだ使える物や、お金では買えないオリジナルグッズなど交換する事ができたりします。また、特定の「スポット」に「ちゅもー」を送ることで、その「スポット」の活動を応援する「つながり」が生まれます。「ちゅもー」を使うには、地域のお店や団体の「つながり」を知ることができたり、これまでになかった「つながり」が生まれたりします。

◆「ちゅもー」の貯め方

「スポット」が用意した、まちや人や環境に関する「体験」を通して「ちゅもー」を貯めることができます。



SDGs推進課でチェックインを!

具体的には、お店のちょっとしたお手伝いやPR、イベントや講座への参加、エコバッグの持参、ユニークなものなどのSDGsクイズへの回答などがあります。他にも「スポット」を訪ねて、設置されたチェックインのQRコードをアプリで読み取るだけでも1日1回「50すもー」を貯めることができます。スタンプラリーがあるなど、ゲーム感覚で貯める「つながり」が生まれるのも特徴です。

良いことについて「ちゅもー」を貯めて「ちゅもー」は特別な体験を「ちゅもー」。

ただ今「ちゅもー」の付与や体験を提供している「加盟スポット」を募集中で、加盟するには経費はかかりません。加盟スポットになると、アプリユーザー(地域のひと)とつながり、まちや誰かの役にたてるような体験を提供できたり、新たなつながりを作る「つながり」により、継続的に来店するファンが増え常連さん「つながり」になります。

「すもー」を貯めたり使ったり、ちょっとしたゲーム感覚のSDGsも学べ、人やまちの「つながり」を作っていくって凄いですね! 楽しんで下さい! お話を聞いてくれるうちに「つながり」が生まれます。

現在ユーザー数は15009、スポット数は149(6/8現在)で、若い人だけでなく60代や70代の方もいらついています。まだまだ数は少ないので増やしていきたい、最終的にはアプリがなくても顔なじみのお店があったり、知り合いがいっぱい増えていく地域になって欲しいとおっしゃっていました。

実際にアプリを操作しながらわかりやすくお話ししていただきました。ありがとうございます。取材にうかがった田には「みんなのSDGs推進課」にチェックインして「50すもー」を、また市役所別館1Fにある給水機でマイボトルに給水して、「100すもー」をいただきました。(恒藤・小山)

